

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	3月	12日	(記入者) 秋山 博隆	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	灰藤
	東辻	本井			
取材対象先	河合町：長林寺の木造聖徳太子立像				

所在地	北葛城郡河合町穴間1091				
所有者(取材 対応者)名	長林寺(河合町教育委員会生涯学習課 **課長、**学芸員)(個人情報守秘)		連絡先 0745-57-2271(河合町役場)		
			PCアドレス		
取材申込	申込先・行政名など：河合町生涯学習課文化財担当				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造聖徳太子立像 2022(令和4)年11月22日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	鎌倉時代後期の聖徳太子二歳像として優れている				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	親の代から引き続き管理をされており、防火対策に特に気を付けておられ、線香や蠟燭等、火には注意しておられる。	普段から防火には特に気を付けておられる。
獣害対策	被害の有無、対策など 近所にアライグマが出たことはあるが、ここまではきたことはなく、獣害が大きな問題となったことはない。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	一時は無住になったこともあるが、現在は、隣地の方(** ** **氏)が、お寺さんを注意して守っておられる。いろいろと保存継承にはご苦労されていると推察される。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

財政的にも大変とは思いますが、保存には並々ならぬご尽力をされていると拝察する。大変素晴らしい文化財であり、町と連携されながら、今後とも保存にご尽力いただければありがたい。

市町村指定文化財取材票〈裏〉

取材日	2023年	3月	12日	(記入者) 秋山 博隆	
取材参加者	秋山	大谷	神野	鈴木	灰藤
	東辻	本井			
取材対象先	河合町：長林寺の木造聖徳太子立像				

<堂内写真は掲載不可のため、撮影許可済みの堂外写真のみを掲載>

文化財指定名 木造聖徳太子立像

河合町指定文化財に指定されたときの速報



赤枠部分には聖徳太子像がありました、掲載不可のため、太子像のみ削除

河合町指定文化財指定書



現在の長林寺



長林寺変遷の説明板



文化財の由緒などを記入

鎌倉時代後期の作で、「南無仏太子」と呼ばれる聖徳太子2歳児の姿が表現されている。CTスキャン撮影により像内に複数の収納品（舍利や巻子等）があることが確認された。  
鎌倉時代後期の聖徳太子2歳像の中でも造形的に優れた作品であり、像内納入品の存在によって当時の太子信仰の実態を推し量るための資料としての価値も有する。

所有社寺や地域（廃寺など）の歴史や特徴等

「穴間」と書いて「なぐら」と読む集落の一角にある古刹。塔の心礎や金堂や講堂の基壇が残されている。創建は推古天皇24(616)年と伝わる。出土した丸瓦に「長倉寺瓦」とへう書きされたものがあることから、かつては、「長倉寺」とよばれ、「穴間」ももともとは「長倉」だった。また、周辺には、馬見古墳群の北群である大塚古墳群が連なる。この古墳群や広瀬神社との相関も想定される古刹である。